

丸火自然館



①



トラツグミ

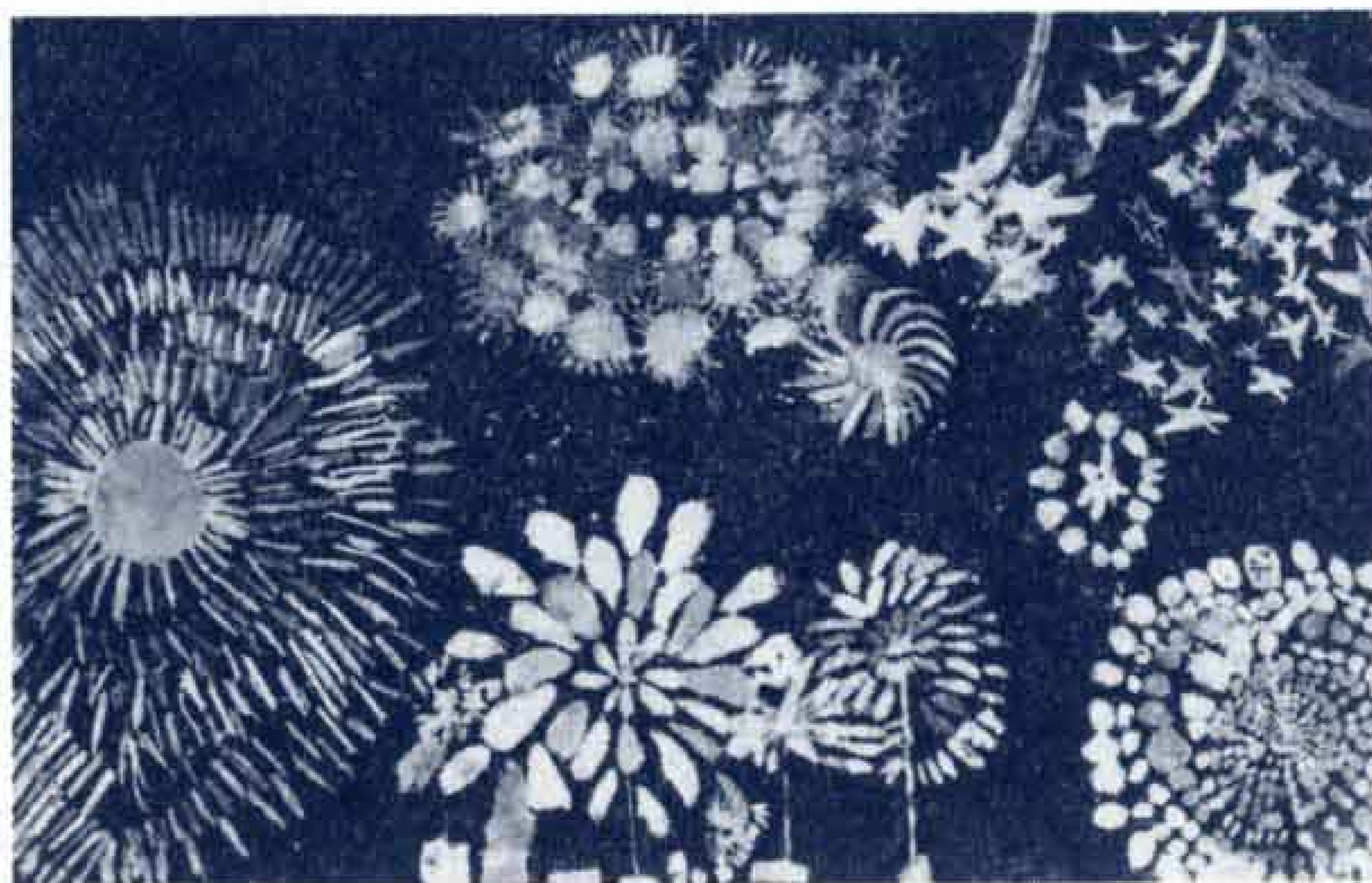
梅雨が明け、ひときわ緑の濃くなった森の奥で、夜ともなればトラツグミやヨタカが鳴く。トラツグミの何ともいえない金属性の声は東富士では連合赤軍に間違われるさわぎもあったとか。ある年ヨタカの営巣地をみつけた。石ころだらけの斜面に卵が2個、やがて灰色の毛糸のかたまりのようなヒナがかえった。ある朝2羽のヨタカが異様にさわぐので近づいてみると大きなマムシがトグロをまきヒナの姿はどこにもない。梅雨が明けても森はときどき深い霧につつまれる。ノリウツギ、ヒメシャラ、リョウブ、などこの時期の木の花はなぜか白い。リョウブは律令の頃、農民に命じてつくらせその若葉を米麦等に混ぜて食べたとのこと。この木で焼いた炭は固く、トタンを切口でこすると傷がつく。

(丸火自然館 橋田権治さん)

ぼくの作品 わたしの作品



ゆきよし幼稚園のおともだち

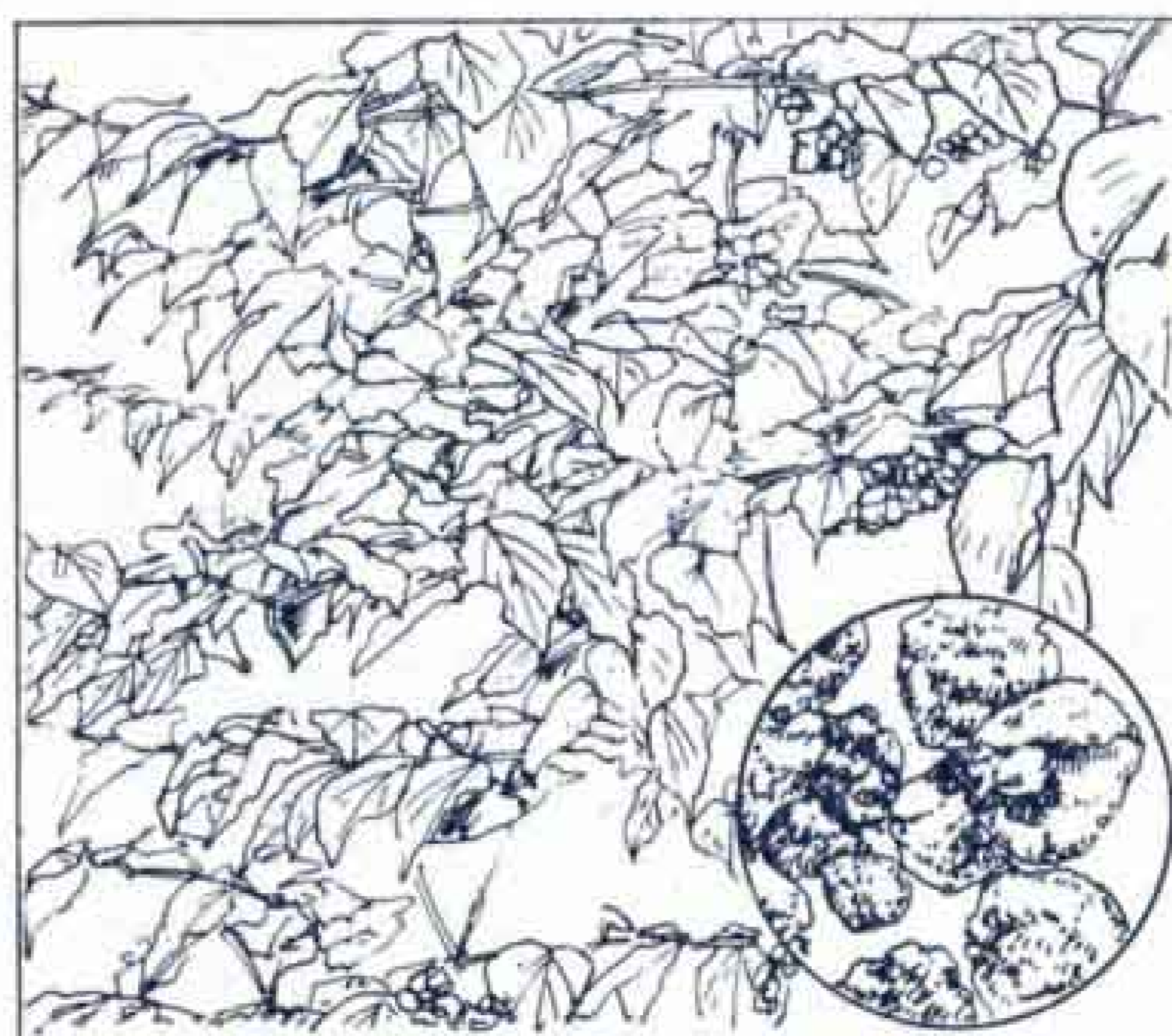


ひまわり花火や流れ星花火、花がさ花火、こんな花火があったらおもしろいな。

みんなでなかよくなるために、大きな絵をかくお勉強をしているよ。

薬草のおはなし⑱

薬草名 マタタビ
もくてんりょう
 生薬名 木天蓼
 薬効 冷え症、利尿、
 強心、神経痛



猫の万病薬として知られている。雌雄別株のつる性落葉植物。夏、梅に似た純白の花を下向きにつけるが、花の時期に葉の先は、半分だけ白く変色する。

花の子房に小さな昆虫が産卵すると虫こぶ状になり、これが生薬となる。10月ごろ、虫こぶを採取して、すぐに熱湯を注いで中の幼虫を殺し、日干しにする。

日干しにした虫こぶもくてんりょう(木天蓼) 100g、ホワイトリカ720mlを2~6ヵ月漬け、マタタビ酒を作り、1回量15ccを朝夕2回に服用すると、冷症・利尿・強心・神経痛によい。